第３回すいとぴあ江南の今後を考える市民会議会議録

日時　令和８年 10 月 13 日（火）　午後２時 00 分～午後４時 00 分
場所　防災センター２階 セミナー室（北）
委員出席者　　森岡孝文、波多野智章、坪内貢、森真奈美、宮澤恵子、
伊神眞一、日比野栄寿、山村仁美
計８名
事務局出席者　　経済環境部商工観光課
総務部財政課

開会　　午後２時 00 分

１．あいさつ
会長　森岡孝文

２．議題
（１）将来像のまとめ
議　長　　事務局に説明を求める。
事務局　　資料に基づいて説明する。
・市北部エリアの将来像のまとめについて説明
①大型イベント(マルシェ)が開催される
②運動する／散歩する
②交流、会話する／自治会員同士の相互の親睦を図る
②懇親会、交流会、大宴会、会議等を開催する／
⑤会員同士の親睦を深める場を提供する
⑤食事(軽食)をする／食事を楽しむ
⑤遊ぶ／自然観が満喫できる立ち寄れる場を提供する
⑤勉強する／学習する
⑤宿泊する
⑨認知の拡大を図る／商品提供の場を提供する
※北部エリアに必要な機能として上記の順番のとおりまとめた
議　長　　事務局の説明の中で話があったが、委員から意見があった必要な機能について説明をいただきたい。
委　員　　まとめの必要な機能の項目に「高齢者福祉施設的な機能」をあえて追加した。理由は、古知野地域であれば老人福祉センター、布袋地域では布袋ふれあい会館と、高齢者にとっては、いろんなことを楽

しめる複合施設が存在しているが、草井地域にはそのような、老人福祉センターの様な機能を持った施設がないためである。もちろん子どもに関する機能も付け加えればいいわけだが、お風呂も入れ、カラオケもある様な老人福祉施設的な機能を持った形もいいと思い意見として付け加えた。

委　員　　資料に示されている優先度のつけ方が分からない。どういう基準なのか。

事務局　　今回選択肢が高齢者、子育て世代、子ども学童、若者、事業者、地域団体、自治会、市外からの来訪者、その他、という 8 種類ある。優先度が１番になった機能「大型イベント(マルシェ)が開催される」は、全委員の意見を集計したところ、当該機能を必要とする対象者の選択肢８種類の内 7 種類が選択されていた。つまり、幅広い世代や立場の人がこの機能を欲していると考えられるため１位とした。

委　員　　資料の表の真ん中に「半数以上が選択した対象者」とあるが、これはどういう意味で記されているのか。

事務局　　選択された選択肢の数により行った。質問の内容については、委員が８人なので、４人以上から選択された対象者を示したものである。例えば、優先度が１位になった機能「大型イベント(マルシェ)が開催される」であれば、子育て世代や事業者といった選択肢を半数以上の委員が選択したため、この２つの対象者を記載している。選択が集中した対象者を示すことにより、今後の会議の検討材料とするため示した。

議　長　　前回、対象者と機能を順位付けする際に基準が分からないという意見があった。そのため、今回は説明があったとおりの基準とした。今回の順位付けは、利用者が誰かということによる重み付けによって行ったと考えるとわかりやすい。

委　員　　優先度が１番の機能「大型イベント(マルシェ)が開催される」はイベントをマルシェに限ったということか。花火大会などの他にイベントは入らないのか。

事務局　　大型イベントの事例の１つとしてマルシェと記載した。

議　長　　「マルシェ等」ということ。農業まつりや産業フェスタ、地域の祭りもイベントである。

委　員　　優先度２番が３つ、５番が４つあるが、要するに同じ票数という意味でよいか。例えば、選択肢の高齢者に５票入ったことにより優先度を２位としたということはないか。

事務局　　対象者の選択は１つの機能につき、最大３つとしたが、委員によっ

ては選択肢の内 1 個だけ選択した方もいる。そのため、選択された総数での順位付けは難しいと考えたため、そのような優先度付けは行っていない。

事務局　委員からの意見について、高齢者福祉的機能として老人福祉センターの事例を挙げていたが、資料の表に当てはめると必要な機能の「交流、会話する/自治会員同士の相互の親睦を図る」に含まれているという意味合いか。

委　員　すいとぴあ江南の施設としてレストランやカラオケがあり、高齢者にとってはありがたい施設である。そのような高齢者がよく利用する施設をもっと多く利用して欲しいと考えている。すいとぴあ江南は元々、勤労者のための宿泊施設である。だが今は勤労者よりも高齢者などへ変わりつつある。現在、譲渡・廃止という話であれば、高齢者の介護施設的なものとしてもよいのではないかと考える。高齢者福祉施設的な機能を兼ねる部分を残して、すいとぴあ江南を存続して欲しいという願いから、意見とした。当然、若者や子ども、事業者なども、構想の中に入れるが、当初の勤労者のための宿泊施設からこのように切り換えることは、地元や江南市民にとってよいと思う。

委　員　確認だが、委員が述べた老人福祉施設は、布袋や古知野にあるとのことだが、どこの施設のことか。

事務局　布袋には布袋ふれあい会館はあるが老人福祉施設とは言えないと思う。風呂も無く、カラオケができる施設も無い。会議室を使ってのサークル活動は行われていると考えられるが、老人福祉センターのような特化した施設ではない。また、古知野の老人福祉センターは今年度ウィステリアプラザとして児童館などの複数の施設と統合した施設へ建て替えられている。

委　員　高齢者が集えるところは、基本的にはないと思うが。

事務局　老人福祉施設そのものという施設はないが、高齢者も使える多機能的な施設が布袋や古知野にある。

委　員　布袋地区の布袋ふれあい会館も古知野地区の老人福祉センターもお風呂はなくなった。残っているのはすいとぴあ江南しかない。また、すいとぴあ江南は指定の避難場所になっている。お風呂があれば、避難民がお風呂も入ることができ、宿泊もできる。すいとぴあ江南は広い多目的ホールもあり、草井地域には必要。存続の話になってしまうが、お風呂やレストランなど、高齢者のためにも残して欲しいという切なる願いである。

議　長　　最初は勤労者のための施設。その意味では災害発生時は高齢者のためではなく、住民のための施設であって、高齢者だけではなく、子育て世代の方も若者も利用できる、そういう観点で考えなければいけないのではないか。

委　員　　必要な機能の優先度について、自身も必要な機能として「学習する」を意見したが、資料では下の順番となっている。しかし、北部の住民にとっては学習室が無いため必要と考える。順番が低いから必要はないという訳ではなく、もし建て替えたときに住民に対してどういうメリットがあるかを考慮して欲しい。また、高齢者施設という意見に関してだが、私が参考として配布したリーフレットの 1 つに小牧市のこども未来館があるが、私が実際に伺って話を聞いたところでは、その場所自体が小さい子供を連れた人から、小学生、中学生、さらには高齢者といったいろんな年齢層がここに集まっており、賑わっていた。同様の物をすいとぴあ江南に作るのは難しいと思うが、カフェ風の椅子や、ちょっとしたところにベンチがあり、ふらっと来た人でも何気なく知らない人同士で会話できるような空間があった。また、大人、高齢者や子どもも関係なく触れ合える場所になっていると感じた。北部エリアはそのような交流ができる場所になると良い。

議　長　　今までの話から、施設ではなく要は機能、コンテンツが必要と考える。固定の設備を入れると、1 つの部屋になってしまうが、特定の場所でコンテンツを入れ替えられるようにしてはどうか。例えば、子どもが遊べるコンテンツが必要な場合、曜日や時間によって必要なコンテンツに変更するなど。私の考えだが、部屋を固定する考えは、やめたほうがいいのではないか。必要なのは、必要なコンテンツをそろえ、ポータブルに必要なコンテンツに変更できる施設にしてはどうかと思う。そういう方向から考えてもいいのではないか。そのため、機能を重視して、どの機能を残すのかいうことを考えたほうがよいのではないか。

事務局　　議論が次の次第の内容に入っているため、次の議題の説明をした後に続きをお願いしたい。

（2）将来像と現在のすいとぴあ江南との比較

議　長　　事務局に説明を求める。

事務局　　資料に基づいて説明する。

・現在のすいとぴあ江南の設備について

・将来像と現在のすいとぴあ江南の比較整理について

議　長　施設や機能、機能の相互補完などについて意見をお願いします。必要な機能の相互補完については、例えば、優先度上から３番目「交流、会話する/自治会員同士の相互の親睦を図る」と、優先度上から４番目「懇親会、交流会、大宴会、会議等を開催する/会員同士の親睦を深める場を提供する」さらに優先度上から５番目「食事(軽食)をする/食事を楽しむ」は相互補完になっているのではないか。親睦会や交流会は食事が伴うことがあり、両方の機能が補完し合っているのではないか。1個の機能としては独立しているが、よく考えると、双方に効果があるものと考えられる。そういう意味で相互補完と思う。機能の相互補完というと言葉が難しいが、一緒に機能することにより効果が出るものをここでは相互補完としてはどうか。

委　員　優先度１番の「大型イベント(マルシェ)が開催される」は、常設的なものではなく、場所と事業者がいればできることではないか。この機能は全ての世帯や立場の人が対象者ではないかと感じており、優先度の２番目以降の機能と比べると違和感がある。「大型イベント(マルシェ)が開催される」の機能は、場所と事業者がいれば大型イベントは開催することができるのではないかと感じた。

議　長　機能は機能として独立し、機能が果たせるような装置や設備を入れ替えて使う。どうしても部屋があり設備があるイメージになるが、場があり、その場をどのように分割し有効利用するかだと考える。

事務局　委員の意見で、優先度１番の機能「大型イベント(マルシェ)が開催される」は必要であるということだと思うが、そのうえで、資料の表には欲しい施設の例としてイベントができる施設とあるが、広場的なスペースが必要であるということなのか。広場ではなくても、マルシェ等はできると考えられるがどうか。

議　長　屋外、屋内に限らない。そのため、例えば花火大会であれば屋内とはならず、屋外の広い場所があればいい。場所と時間だけ考えれば、空間的要素が広がると思う。利用は、場所で限定してしまうと良くないのではないかという気がする。

委　員　要は花火大会が開催できる様な大きな場所が必要ということ。それをどう利活用できるかということで、いろいろな方法があるということ。つまり、優先度１番についてはそのようなスペースが必要ということなんですよね。

議　長　大型イベントをやるという機能です。

委　員　機能だが、優先度１番と４番目は、提供の場所、「場」が必要で、そ

の利活用については時間の調整が必要かもしれないが、まずは「場」が必要ということなので、そういう意味で優先順位が高いのではないかと思った。

委　員　「大型イベント(マルシェ)が開催される」の欲しい施設として、大広間の様な場所なのかと思ったが、幼稚園の発表会やダンス発表会、趣味の様々なサークルが演奏会でなどを行っているので、やはり屋外ステージはあった方がよいと思う。ただ、オープンスペースという考えに屋内の大きい広間を含めていくのかは、考えがまとまっていないためわからない。

議　長　イベントであるため屋内、屋外全部含まれるイメージの方がいいと思う。考えによっては、ステージを固定しなくても、今行われている多くの屋外のフェスティバルはステージを持ってきて一時的に設置している。逆に、固定すると用途が限定されてしまい良くないのではないか。ただし、雨が降った場合に屋内でもイベントができると考えると、屋内の大きな広場があると良いと思う。いろいろな用途についても余計な費用、余計なものを使わずに、ある程度コストを抑えながらイベントを開催することは可能と考える。

委　員　空間の使い方ということで、実際に見た例を話す。会議のため訪れた知多地域のあるホテルの宴会場担当者から、『会議を行った会場に今からボクシングのリングを設営する』と伺った。その宴会場はアジア大会のためのボクシングの練習場になるとのことだった。議長が仰っている様に、広い場所があれば、物を持って来て何でもできるという時代なのだと感じた。使い方という話であれば、大広間の話題があったが、十分その空間でイベントができるのではないかと思った。また、一宮市のスポーツ文化センターの一番広いフロアがローラースケート場になって利用されていた例もある。使い方を考えていけば、広い場所はどのようにも使えるのではないかと思う。

議　長　大きな空間でもうまく区切ることにより、会議などに利用できる。特定の場があれば個別に部屋を作るよりも、相互に交流しやすい仕組みがあれば、時間と場所を超越して交流促進できるはずと考える。

委　員　そうであれば、広いスペースの一角に幼児が遊ぶ場所があってもよいということですね。

議　長　相互に交流しやすい仕組みを次に考える必要はあると思うが、コンテンツさえあれば設備はあまりこだわる必要はないのではないか。

委　員　そのような交流はとても大事だと思う。私が持ってきたもう 1 つの冊子に、犬山市にあるワンダーランドという幼児の広場がある。こ

こも訪ねたが、お母さん同士がすごく交流しやすい場所になっていると感じた。

事務局　先ほどから優先度１番の「大型イベント(マルシェ)が開催される」について、広場や屋外ステージというのが意見を出していただいた。優先度２番目について委員が途中で言いかけていたところを具体的にどのようなものを想定するのかについて意見をいただきたい。またそのあとも順番に意見をお願いしたい。

委　員　最初に配布した私が作成した資料の右下に、宿泊施設とか散歩道の庭について記載してあるが、この資料は内藤記念くすり博物館を参考としている。この施設にはとても小さい庭だが、何回も訪れたくなるような庭づくりになっており、とてもすてきな場所である。ただ木々の中を通り抜けてくという感じではなく、このような庭があると、何かで訪れた機会のついでに散策できるので、このようなところがあれば良いと思う。また、すいとぴあ江南の道路側にはドングリ等が沢山落ちており、そのような自然が活用出来たらと思う。芝生広場も少し木をまばらに植えて木陰をつくることができると、ピクニックができたりして良いのではないかと思う。

議　長　今の意見も広場を散歩する仕組みづくりが大切だと考える。今回配布された資料の施設は小さな割に仕組みづくりがされていて、うまく回遊できるように作られている。ただ何もないのはよくないが、コンテンツを入れて、コンテンツが有効に活用できるような仕組みを作る必要がある。

委　員　必要な機能に「大型イベント(マルシェ)が開催される」とあるが、これ以降の順番の機能は大型とは言えないにしても全てイベントにできるのはないか。例えば、水遊びや遊具など「遊ぶ」の機能については、何日の何曜日はシャボン玉や泡が出てくる装置が設置される、の様にイベント的なことにできるのではないか。また、「勉強する／学習する」についても地域の学校の生徒が集り、みんなで勉強するというイベントにできると思う。いろんな世代であっても全てイベントにできるのではないか。グランピングについても、期間限定で１か月や２か月グランピング施設を持ってくることもできると思うので、今ある場所や施設でできるイベントをどんどん行えばよいのではないか。そのため、やりたいことがあれば、業者を誘うということをやってもよいのではないか。そうすれば新しい施設を作る必要もなく、大々的に見た目をおしゃれにする必要もないのではないか。あくまでも考え方次第、実施できるイベント次第なのでは

ないかと思う。

議　長　　意見のとおり活動は全て小型イベント。ただ、農業まつりの様なものなどはある程度規模が大きいため区別はする。そのように分類して、理解していいのではないかと思うがいかがか。

委　員　　いろいろな世代をターゲットとし、イベントとしてしまえばサイズを問わず何でもできると思う。特別な施設がなくても、いろいろな人に向けたことを行うことができ、みんなが集まれる場所になればと思う。

委　員　　とても良い意見だと思った。特にグランピングは固定したものを作ったとしても客が入らないことも考えられるため良いと思う。しかし、今の環境では難しい。バーベキュー等もやるのであれば自然に囲まれたような環境がいいと思う。少し環境を変え、自然を楽しめる形とすることが理想ではないかと思う。

委　員　　今日の話を聞いてるとフラワーパーク江南が東側に動いたのと変わらないような気がする。結局、草井地区の人にとってメリットはあるが、現在すいとぴあ江南がある空間に少し大きな建物があればそれで十分であるというイメージにしかならない。重要なのは、そこを誰がどうやって運営していくかだと思う。やはりそこまで考えないと残す、残さないを含めて、最終的な結論にならないのではないかということを冷静に考えて欲しい。フラワーパーク江南も場所としては、素敵な空間だと思う。しかし、国の運営か市の運営かの差はあるが、フラワーパーク江南にある施設もいろいろな使い方ができるはずだと思う。そのため、そこの違いを明確にしないといけない。同じものを２つ作っても仕方がないと思う。

議　長　　同じものが２つあっても意味がない。そういう意味では役割や機能を特化させて、特色を出せるようにしなければならない。そのとおりだと思う。

委　員　　そもそも、市全体の公共施設の更新費用が不足するため、このままの状態ではすいとぴあ江南を継続することが難しいというところからの会議だと思っている。そのため、機能ということで話をしてきたのは、絶対すいとぴあ江南でそれをやらなければいけないという訳ではなく、例えばフラワーパーク江南で同じことができるのであれば、機能を移転しても良いのではないかと思っている。

事務局　　まずどういった機能が北部エリアで必要なのか考えていただきたい。今の意見のとおり、フラワーパーク江南も同じように広場があり、キッチンカーも呼ぶことができるので、同じ施設を同じ場所に作る

必要はない。少し先の議論にはなると思うが、同じ施設であるならば、すぐ近くで代替できるという話に繋がるのではないか。まずは委員それぞれの立場があるため、資料の優先度の順番で、どのような機能に基づいて、どのような場が必要かというところについて意見を賜りたい。次の必要な機能の項目「交流、会話する／自治会員同士の相互の親睦を図る」ですと、イベントができるような施設ということであれば、大きな駐車場がまずは欲しい、駐車場があれば駐車場を活用し時としてキッチンカーを呼ぶイベントを行うなど、そういうことに繋がるのではないかと思いますので、そのような意見を賜りたい。

委　員　フラワーパーク江南との差別ということについて、持参した資料の給食ランチの提案があります。すいとぴあ江南の隣に給食センターが建てられたので、そこでワンコインランチができたらいいと思っている。キッチンカーは時々来るが、金額も高く、日々の交流ではあまり利用しない。そのため、他との差別として、何か特化したもので考えると、給食センターと連携し、安く提供できればと思っている。参考として可児市で嫩葉舎（どんようしゃ）というところがあり、ワンコインランチをしている。ビュッフェ形式で、ワンコインであれば主婦や子連れの方、高齢者でも利用しやすいと思う。独居の高齢者も多いため、孤食の問題に対しても、ここに行けば交流もできるという場にもなるのではないかと思い提案した。

議　長　今回の議論の中ではコンテンツの例が具体的すぎると思う。つまり、レストランあるいは食堂の機能が必要であるという意見とさせていただく。食堂の運営や、運営がうまく回るかは別の問題であり、コンテンツの細かい部分について言及すると、話がわかりにくくなってしまう。必要な機能の項目でいうと「食事(軽食)をする／食事を楽しむ」に入り、レストラン機能が必要であるということになる。

委　員　優先度の９番目「認知の拡大を図る／商品提供の場を提供する」について、すいとぴあ江南のイベントを周知させることも必要なことだと考える。しかし優先度が一番低いのは、すいとぴあ江南の認知度が衰えることに繋がりかねない。

事務局　優先度の９番目だが、議長が仰ったように、優先度の１番目と補完関係になるものと思われる。例えばマルシェなどの物販の場合、事業所がそれぞれの店のものを提供してPRにも繋がることになりますし、優先度１番目とも関連するのではないか。

議　長　確かに、機能として「認知の拡大を図る／商品提供の場を提供する」

は他の項目と違うのではないかと思った。

事務局　前回の会議の意見として、例えば事業者が自身の商品やセールスポイントなど会社自身の認知の拡大を図るためにすいとぴあ江南を使うや、市民楽団などの団体が活動の認知を広げるために使うといった意見があったため、機能としてこのようにまとめた。

議　長　自分たちの活動を認知してもらうことを図る、ということですね。すいとぴあ江南はそういう情報を提供する場という意味。最終的には、皆さんの便宜が上がるような情報提供をするということですね。

事務局　資料の優先度の２番目、３番目までは意見を伺ったが、４番目以降についても意見を賜りたい。

委　員　「懇親会、交流会、大宴会、会議等を開催する」の機能だが、現在のすいとぴあ江南で開催できる場所はどこか。また、実際にそういう会は開催されているか。

事務局　懇親会であれば多目的ホールが開催できる場所となるのではないか。小規模な懇親会や交流会、会議であれば研修室のような部屋もある。

委　員　企業の研修会で利用できることについて企業側は知っているのか。

事務局　会議や研修などで利用はされていると伺っている。また総会を多目的ホールで行う場合もあると聞いている。

委　員　食事に関しては、翠江亭をなくすということではなく、先に意見したとおりレストランはあったほうがいい。また、「遊ぶ／自然観が満喫できる立ち寄れる場を提供する」に関しては道庭や自然な遊歩道を作ってほしい。また、「勉強する／学習する」については、もう少しオープンな学習室があったほうがいいと思う。さらに、「宿泊する」ついて、配布した資料に示したが、宿泊施設に関して、現在の形のままではなく、具体的になるが和モダンにした方が良い。また、犬山市との連携で観光客を誘致するなど、受け身ではなく積極的に働きかけることで変わってくると思う。

事務局　食事や宿泊は今のすいとぴあ江南の大きな機能の 1 つであるが、他に意見等はないか。

委　員　「食事(軽食)をする／食事を楽しむ」について、大きな場所があるわけではないため、懇親会などに付随するものだと思う。そのため、なくてはならないとは思うし機能は十分あると思うが、それに営利を求められないのではないかと思っている。また、「宿泊する」について、江南市には宿泊施設が少ないため、会議等があった際に遠方の方が宿泊するには非常に利用しやすいと思う。しかし、駅から離れており交通の便の問題があるため、江南市での会議後に多くの方

がすいとぴあ江南で泊まろうとは思わず、宿泊を名古屋へと考えるのではないかと思った。

委　員　　「宿泊する」について、すいとぴあ江南の北側河川敷にグラウンドがあるが、合宿利用はあるか。

事務局　　フィールドホッケーのアンダー18 のグラフチームの選手が、すいとぴあ江南の合宿バックを利用したケースもあり、一定の需要はある。

議　長　　大学教授時代は夏に毎年合宿をしていた経験があり、安価な国民休暇村などの合宿部メニューを利用していた。大学のスポーツクラブも遠方で合宿をすると移動の間で事故が起こる可能性が大きくなる。そのため東海地域の大学に合宿利用を呼びかけることもよいのではないか。

３．その他について

議　長　　その他について、事務局に説明を求めた。

事務局　　説明する。

・公共施設再配置計画上、すいとぴあ江南は譲渡または廃止とされている
・市全体の公共施設更新費用の試算では全ての公共施設を現在と同じ規模での維持更新は難しい
・すいとぴあ江南の維持費用は、指定管理料に毎年 1.1 億円を支出
・設備や施設は老朽化が進んでいる
・建物を継続して使用する場合、建築 40 年目に大規模改修が必要
・行政関与の必要性の検討も必要

議　長　　事務局の説明について次回以降に検討を進めていくべき内容のため、委員も考えておいてほしい。

４．次回開催日程の調整

議　長　　次回開催日程の調整について、事務局に説明等を求めた。

事務局　　次回の運営委員会は、11 月 19 日（木）14 時から市役所で開催を予定している。

【委員から意見あり、後日改めて日程を調整することとした】

※後日、調整により 11 月 19 日（木）14 時からの予定となった。

閉会　　午後４時５分